

2024.7.1

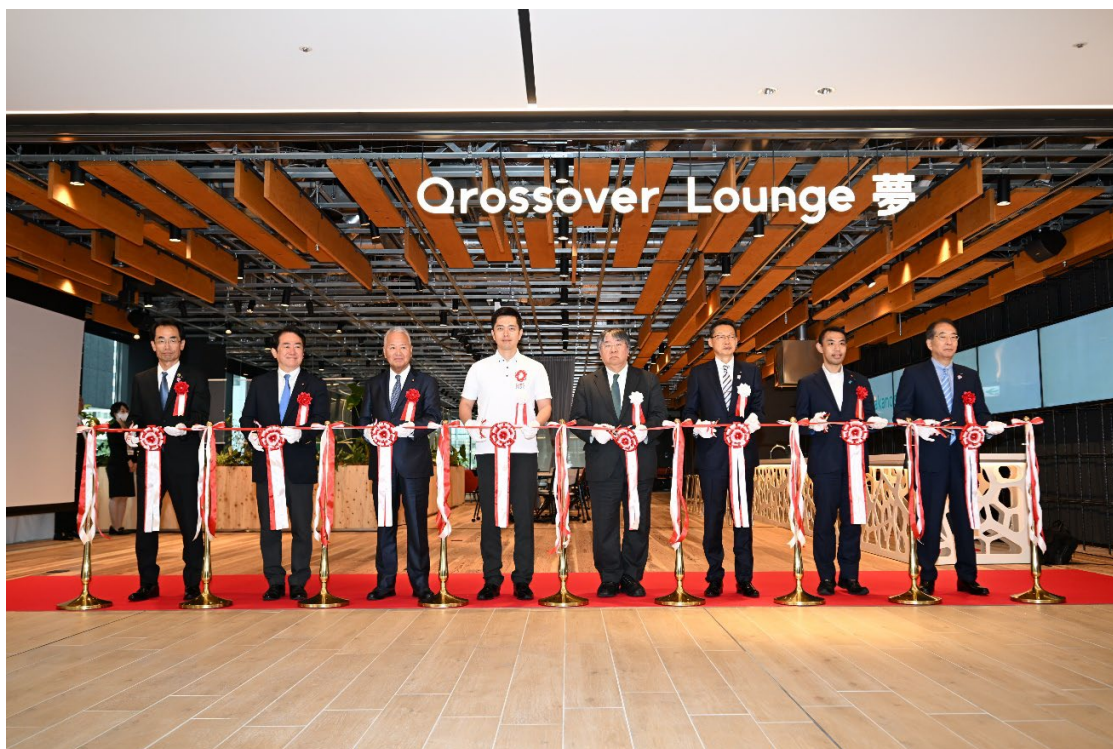


未来医療・先端医療におけるイノベーションの創出、早期実用化・産業化に むけて、「Nakanoshima Qross(未来医療国際拠点)」に参画

～衛生管理の視点から未来医療・先端医療の現場をサポート～

アース環境サービス株式会社(本社:東京都中央区、社長:田淵徹)は、未来医療・先端医療におけるイノベーションを創出し、早期実用化・産業化を図ることで人々の健康に貢献することを目的に、「Nakanoshima Qross」(大阪府大阪市)に参画いたしました。

6月29日には、同拠点のオープニングセレモニーが開催され、弊社 副会長 松本吉雄、ライフサイエンス本部 本部長 藤井健二、および顧問 勝藤良輔(一般財団法人未来医療推進機構理事を兼任)が出席いたしました。



写真左)オープニングセレモニーでのテープカットの様子 (提供:未来医療推進機構)

今回の「Nakanoshima Qross」への参画は、未来医療・先端医療におけるイノベーション創出に取り組む弊社の強い意志を表すものです。彩都総合研究所<T-CUBE>(大阪府茨木市)に開設した衛生管理や環境維持(設備構造を含む)が学べる「教育訓練用 CPC[®]」とも連携した取り組みで、医療の発展を支援し、人々の健康・安全・安心に貢献してまいります。

参画の目的と取り組み

アース環境サービスは、未来医療・先端医療におけるイノベーションを創出し、早期実用化・産業化を図るために、衛生管理の視点から現場を支え続けます。

「Nakanoshima Cross」に入居する大学や公的研究機関、また同じ志を持つ他企業との連携により未来医療の実現に向けた研究・開発を加速させ、産業化に必要なサプライチェーンの確立を応援すると共に、革新的な医療技術や創薬が社会に広く浸透するための土台作りに尽力してまいります。

さらに、衛生管理の分野で培ったノウハウや教育訓練用 CPC (彩都総合研究所<T-CUBE>内)を活かし、未来医療を担う環境の最適化を図ることで、より安全で効率的な医療技術や生産現場の開発をサポートしてまいります。

※ CPC(Cell Processing Center):細胞培養加工施設

Nakanoshima Cross とは

医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する、他に類を見ない未来医療の産業化拠点です。2019年に21社の民間企業等と大阪府で設立した、一般財団法人未来医療推進機構が核となり、拠点形成を進めています。当拠点は、「未来医療 MED センター」「未来医療 R&D センター」「中之島国際フォーラム」の3つの施設(エリア)で構成されており、それぞれ未来医療の「実践」「創造」「共有」の役割を持っています。

入居する企業や医療機関等がそれぞれ連携することで、「実践」「創造」「共有」の役割をサイクルさせ、再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能(AI)、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」における産業化を推進させること、及び国内外の患者に対する「未来医療」の提供を通じて、国際貢献を推進させることをめざします。



(提供:未来医療推進機構)

(公式サイト:<https://www.nakanoshima-cross.jp/>)

本件に関するお問い合わせ窓口

アース環境サービス株式会社 ライフサイエンス本部

担当:藤井健二

電話:03-4546-0640

メール:fujii-kenji@earth-kankyo.co.jp